

SUPER GT Rd.5 FUJI 300km

Arnage Racing Team Release

ドライバーの我慢の走りと気迫のピットワークで、完走ポイント3をゲット！

第5戦「たかのこのホテル富士 300km」は、コロナ禍のために無観客レースが続いていたSUPER GTにようやく観客を迎える記念すべきレースとなった。

Arnage Racing は、前戦もてぎを最後に一旦レース活動を休止することになった山下選手に代わり、これまでチームに帯同していた廣田選手をBドライバーとして登用。富士大会は廣田選手のGTデビューとなるうえに、加納選手がGT参戦50戦目となったため、チームにとっても記念すべき大会となった。

□QUALIFYING DAY October 3rd□

曇り空のもと、午前中の公式練習が始まった。Arnage Racing は開幕戦でパフォーマンスの高かったスーパーハードタイヤを今回の富士ラウンドでも投入することに決めていた。まず加納選手がマシンのフィーリングをチェック、問題がないことを確認すると、あとは今大会がGTデビュー戦となる廣田選手の慣熟走行を中心にメニューをこなしていった。決勝では左側のみ2輪のタイヤ交換を計画しているチームは、公式練習の途中で何度かマシンをピットに呼び戻し、左側にニュータイヤを入れて廣田選手に感触を確認させた。



そんな中、6月の富士テスト以来のドライブとなる廣田選手はなかなか思わしいタイムを刻むことができず苦戦していたが、公式練習の後のデータ解析から、廣田選手のドライビングスタイルに大幅な改善の余地があることが判明した。チームは公式練習の後に廣田選手と入念なミーティングを行い、翌日のウォームアップ走行でフォームの修正を図ることになった。また、チーム側でもマシンに対策を入れてサポートを行った。

午後の予選はB組で、加納選手がQ1突破を目指してアタックを試みた。加納選手は1'38.947の好タイムをマークしたが、ライバルマシンのタイムを上回ることができず、翌日の決勝を28番手から追い上げることになった。



□RACE DAY October 4th□

決勝を迎える翌日の朝は早い時間に少量の降雨もあったが、早々に上がり、走行に問題はなさそうな空模様。ただ、上空は厚い雲に覆われて気温は低かった。

決勝前に行われたウォームアップ走行では、前日からドライビングフォームの改善を図った廣田選手が確認のため、7周にわたって走行を行った。廣田選手は1分40秒台で好調な走りを見せ、廣田選手が訴えていたアンダーステアも解消、修正に成功したことが確認できた。

13時30分、大観衆の見守る中決勝がスタートした。

第1スティントを担当する加納選手が28番手からスタートした。周囲の強豪マシンの中で一旦は29番手に沈み、なかなか順位を上げていくことができなかった Arnage Racing だったが、加納選手はモチベーションを落とすことなく、淡々と順調にラップを刻む。加納選手は1分40秒台後半から41秒台の好タイムでプッシュを続け、前方をいくマシンとのギャップを広げることなく激走を続けた。レースの中盤に差し掛かる頃からルーティンピットに入るチームが出始めたが、Arnage Racing は好調の加納選手のスティントをレース半ばまで引っ張った。加納選手はスティントの最後で48号車をオーバーテイクし、31周め、見かけ上4番手でピットに戻ってきた。

ピットインの時間を出来るだけ短縮したいチームは、予定通り左側2輪のみタイヤを交換、息のあった迅速なピットワークで第2スティントの廣田選手をコースに戻した。

見かけ上27番手でレースを再開した Arnage Racing は、全車がルーティンピットを終える頃には26番手に浮上、廣田選手が巻き返しを図る。

ドライビングフォームの修正が功を奏して、廣田選手は1分40秒台を連発し、デビュー戦とは思えない落ち



Arnage Racing 2020 SUPER GT Race report

着いた走りを見せた。レースの後半には路温が 25℃を下回っていたが、チームのチョイスしたスーパーハードタイヤは高いパフォーマンスを発揮、廣田選手の安定した走行を助ける。廣田選手は順調なペースをキープしてプッシュを続け、前に行く強豪マシンに追従する頑張りを見せた。脱落していくマシンを横目に、廣田選手は少しずつ順位を上げ、残り 3Lap というところで 360 号車をオーバーテイク。ラストラップとなる 61Lap 目には廣田選手のベストラップとなる 1



‘40.407 をマークするなど最後までペースを落とすことはなかった。そして、62Lap 目、300 クラスの先頭車両から 1Lap 遅れの 23 位でチェッカーを受けることができた。

Arnage Racing は、終始ペースを落とさずプッシュを続けた 2 人のドライバーの頑張り、メカニックの迅速なピットワークで、富士ではなかなかとることのできない完走ポイント 3 を獲得することができた。

応援して下さった皆さまには深く感謝致しますとともに、10月24日～25日に鈴鹿サーキットにて開催予定の次戦、鈴鹿ラウンドにおきましても、Arnage Racing にご声援を賜りますよう、宜しくお願い致します。



Arnage Racing

〒510-0064 三重県四日市市市新正 4 丁目 15-18

Tel:059-351-6264 Fax:059-351-6054

Facebook: <http://www.facebook.com/arnage.racing>

Twitter : https://twitter.com/arnage_racing

(Arnage Racing 公式 #50 @arnage_racing)

Instagram: https://www.instagram.com/sacracat_arnage/

(Arnage Racing 公式 #50 @sacracat_arnage)